

平成28年度事業報告

四国支部（支部長：板倉 宏昭）

本年度は研究会の活発化に重点を置き、活動を展開しました。年次大会と1月と6月と12月の研究会であわせて4回の研究会を実施しました。

（平成28年度第1回）研究会（参加者20名）

日時：平成28年1月21日（木）

場所：香川大学林町キャンパス

講師：竹林卓氏（株式会社リテラクラフト代表取締役社長）

講演題目：「出版社の秘密」

講演概要：出版は「有期限（締め切りがあり）かつ 唯一無二」ということで、完全なプロジェクトである。部外者には窺い知ることのできない世界を、プロジェクトマネジメントの骨子に沿って、紹介していただいた。

総会・年次研究大会（参加者28名）

日時：平成28年3月3日（木） 13時30分から18時

場所：香川大学林町キャンパス

共催：香川大学大学院地域マネジメント研究科

香川大学社会連携・知的財産センター技術交流協力会

後援：特定非営利活動法人ITコーディネーター協会

総会後の年次研究大会には、株式会社リテラクラフト代表取締役社長の竹林卓様に招待講演にお越しいただいた。板倉支部長の挨拶に続き、竹林様による招待講演のほか2件の発表があった。講演・発表後の質疑応答では活発な意見交換が行われ、充実したものとなった。年次研究大会終了後は会場を移して懇親会が開かれ、ここでも活発な意見交換をすることができた。

招待講演

講師：竹林卓氏（株式会社リテラクラフト代表取締役社長）

講演題目：「翻訳の秘密」

過去に翻訳をてがけたご経験から、翻訳とはなにか、という問題に触れ、著作権や印税などの仕組み、翻訳の技術論、日本語と外国語の比較、自動翻訳の可能性と限界について述べていただきました。また、翻訳者になるためには、母国語の達人をめざすことはもちろん、英語などのほかにも数カ国語できることが望ましいため、ご自身の勉強方法も紹介していただきました。

発表1「音声ガイドアプリ～新規プロジェクトの立ち上げ」

行成 俊隆氏（株式会社DynaxT）

海外から日本を訪れるインバウンド観光客が増加していることを受けて、株式会社DynaxTと香川大学大学院地域マネジメント研究科が産学連携で、四国の観光地を活性化させるための多言語音声ガイドアプリの開発プロジェクトを立ち上げました。徳島県三好市の大步

危・祖谷の秘境の実例を通じて、外国語翻訳の事業技術を広げていくための実績や課題について、報告していただきました。

発表2「要介護認定者を中心とした地域ICTサポートシステムの提案～高松市地域包括ケアシステムの構築に向けて～」

坂本啓輔氏・津川義弘氏（香川大学大学院地域マネジメント研究科）

高齢者を対象にICT講座を開催し、タブレット端末の使い方を教えてICTに親しんでもらった結果、要介護認定者が自ら、タブレット端末を使って現在利用している事業所のホームページや他の介護サービスを検索する、家族に渡されたスマートフォンを使って通所介護での利用状況を撮影して家族や友人に情報発信するなどの当事者意識の向上が認められた。実験結果とその考察を通じて、このような地域ICTサポートシステムが介護給付費の削減に寄与するかどうかについて発表があった。

（平成 28 年度第 2 回）研究会（参加者 20 名）

日時：平成 28 年 6 月 28 日（火）14 時から 16 時

講師：富永章氏（PMラボラトリー代表）

会場：香川大学林町キャンパス

講演題目：「イノベーションとパーソナルPM」

講演概要：大勢が共通の用途に使う”モノ”の時代から個別ニーズを向いた”サービス支配”の時代に移り、既に長年たった。現代は多様な人々の充足感を満たすような”パーソナライズ”の時代へと動いている。今日の進んだアイデアをみると、その誕生には偶然とは思えない共通点がある。常識を超えるアイデア創出のパターンを検討し、そこに個人の段取りの知恵ともいうべき”パーソナルPM”があらためて見えてくることを示された。

（平成 28 年度第 3 回）研究会（参加者 30 名）

日時：平成 28 年 12 月 13 日（火）14 時から 16 時

講師：尾田美和子氏（tsutaeru 代表）

会場：香川大学林町キャンパス

講演題目：「伝統工芸品を新しいカタチに新しい価値として提供する」

講演概要：伝統工芸品である西陣織を用いて作った人生ではじめての靴「お初履き」について、企画の背景、製品開発、販売に至るまでの研究をする立場から起業家になった自らのプロジェクトについて講演された。